

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	和歌山県
取組市町村名 取組団体・企業名	和歌山市、紀美野町
取組の名称	保育園・こども園・小学校等での食育活動
実施時期	6月
取組内容	<p><和歌山市 子育てひろば></p> <p>0歳～就園前の子どもとその保護者を対象に、市内7会場で実施している「子育てひろば」において、野菜を題材にした手あそびやリズム遊び、紙芝居等で、野菜への苦手意識をなくし親しみを持てるよう取り組んでいるとともに、朝食を食べることの重要性、早寝早起き等の生活習慣の重要性及び食事の際のマナーについて学ぶ場を設置</p> <p><和歌山市 市立川永保育所></p> <p>●たまねぎを収穫、クッキングし、食べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的：野菜の生長に興味を持ち、クッキングを通して食に関心を持つ ・参加者：全児42名 ・内容： <p>昨年度から栽培をしていた玉ねぎが生長したので収穫をし、5歳児が中心となり玉ねぎを軒に干しました。すると、子ども達からクッキングをしたいとの声が上がリレストランをすることになりました。</p> <p>初めてのクッキングなのでたまねぎの皮をむく、包丁で切る、ホットプレートで炒める、盛り付ける、の内容ですことに決めたのですが、子ども達から「レストランの看板を作りたい」「売りたい」「トッピングしたい」などの意見がたくさん出てきて、当日を楽しみにしながら看板作り、食券作りへと広がりました。</p> <p>数日して玉ねぎ炒めを作り、それにソース、ケチャップ、マヨネーズの3種類の味付けもしました。「いらっしゃいませ」「どの味にしますか?」とか「100円です」「おかわりあるよ」など楽しくクッキングをしました。</p> <p>自分たちで収穫し、調理したものは、嫌がる子もなく全員食べました。また、事前に家で親と一緒に練習をした子どももいれば、その後、家で親と一緒に調理をしたなどの声もありました。</p> <p>●夏の野菜を植え、生長を観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的：野菜の生長に興味を持ち、生長を楽しみにする

・参加者：幼児クラス（3～5歳児）

・内 容：

草を抜き、畑をすることから野菜の苗を植え、毎日水やりをしています。

雨が降ると自分たちが水やりをするより、野菜が大きくなっていくことや、草がたくさん生えること。虫や蝶が飛んでくるなど自然の不思議さを感じています。

<和歌山市 市立有功小学校>

(1年生)

「はたけのやさいのえをかこう」

畑にトマト・ピーマン・なす、さつまいもの成長を観察しています。給食で食べている野菜が実になる様子を発表し合い、その後、畑で収穫した野菜を図工の時間に絵の具で描きました。今後は、給食の学習につなげていきたいと思っています。

(2年生)

生活科の学習の中で、自分が選んだ野菜（ミニトマト・ナス・ピーマン・ししとう）を生育状態に応じた世話をすることや観察カードを書き続けることで、おいしい野菜を育てる達成感を味合わせました。自分たちで育てた野菜を収穫し食べるまでを体験することで、子供たちの食への関心や興味を高め感謝の心をもつことにつなげました。

(3年生)

「くだものひみつをさがろう」

総合的な学習で、児童がくだものについて知りたいことや調べてみたいことを出し合い、それを元に授業を進めた。本やインターネットで調べたりインタビューをしたりして、疑問を解決しています。分かったことや調べて思ったことをレポートにまとめていく予定です。

(4年生)

「和歌山県の特産物について」

- ・和歌山県には豊かな食べ物の特産物がたくさんあることを知る。
- ・給食ではどんな特産物が出るか調べる。
- ・なぜ給食で和歌山県の特産物がよく出るか考える。
- ・果物や野菜、魚などの和歌山県の特産物を調べる。

(5年生)

「バケツで稲を育てよう」

総合的な学習の中で、種もみから稲を育てる取り組みを始めました。教室で芽出しまで行い、バケツに土を入れて植えた。ビニル袋などで雀から守りつつ育てている最中です。

(6年生)

「昔の食事について知ろう」

- ・社会科で学習した縄文時代、弥生時代、奈良時代、平安時代の暮らしから食文化について思い返します。
- ・各時代の食事がどんなものか知り、比較します。

- ・原材料や調理方法まで突きとめます。

<紀美野町 6ちゃんクラブ>

食育月間の取り組みとして、こども園年長児28人と保護者に栄養士と保健師が、生活リズムや食事の大切さを伝える健康教育を実施

実施場所：きみのこども園・こうのこども園

実施内容：

- ・事前に保護者を対象とし、日頃の生活リズムや食生活の15問アンケートを実施
- ・「早ね、早おき、朝ごはん」のエプロンシアター
- ・食品の3色分け（ちからくん・からだくん・まもるくん）
朝ごはんのメニューで栄養士から説明し、その後「カレーライスとサラダ」に必要な食材カードを釣り、3色のカゴにそれぞれ入れるゲームを実施。
- ・生産者からお口に入るまでの食べ物の循環や、食事の前後に「いただきます、ごちそうさま。」という意味についての講話。

